

氏名	和 泉 裕 之
学位の種類	医 学 博 士
学位授与番号	乙 第 4 2 9 号
学位授与の日付	昭和45年 6 月30日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第5条第2項該当)
学位論文題目	慢性白血病に関する臨床的研究 第1編：教室における慢性骨髄性白血病の臨床統計，と くに急性転化を中心として 第2編：教室における慢性リンパ性白血病の臨床統計
論文審査委員	教授 大 藤 真 教授 小 坂 淳 夫 教授 妹尾左知丸

### 学 位 論 文 内 容 の 要 旨

昭和27年より昭和42年に到る過去16年間に岡大医学部第二内科に入院せる慢性白血病患者72例を対象として臨床統計的研究を行った。

第1編においては慢性骨髄性白血病64例について、その予後も最も大きく支配する因子と考えられる急性転化を中心に検討した。その結果急性転化の早期診断の指標として血液像および骨髄像における骨髄穿球5%以上の増加、前骨髄球20%以上の増加、好塩基球5%以上の増加、赤血球数、300万以下の減少、血小板数10万以下の減少、骨髄のdry tap、骨髄培養所見の急性白血病増生様式への近似、臨床症状としての脾腫大、出血傾向、発熱、肝、リンパ節腫大などが重要視さるべきことを見出した。又治療目標として骨髄培養所見が正常パターンになったら直ちに維持療法にきりかえ再生不良性貧血型にならない程度にごく緩徐に行うことが急性転化率を低下させ、平均生存期間を延長させることを見出した。

第2編では8例の慢性リンパ性白血病症例について検討し骨髄培養所見においてやはり二重増生帯の認められることを見出した。

(第1編、第2編とも岡山医学会雑誌第82巻 第3,4号に掲載)

## 論文審査の結果の要旨

本研究は、慢性白血病の臨床統計的検討を行ったものであるが、急性転化の予知、予防上重要な知見を得たものとして価値ある業績と認める。

よって本研究者は、医学博士の学位を得る資格があると認める。